

太極信州

第10号

2010年7月31日発行
特定非営利活動法人
日本健康太極拳協会
長野県支部

発行人 小林直利
長野県松本市五常
6999-3(〒399-7401)
TEL 0263-64-3980
FAX 0263-64-3980

長野県支部設立五周年記念大会

『楊進先生講演会』

長野県支部長 小林直利

平成二十二年六月二十日(日)、午後二時より、長野県松本文化会館において、楊進先生を講師にお迎えして、長野県支部設立五周年記念大会(記念講演会)を開催致しました。



(講演をされる楊進先生)

来賓として、後藤正行・春美先生御夫妻、遠くは、広島県より内藤成子支部長、近県からは、山梨県より小倉久典支部長に起し頂き、長野県内より一〇名、山梨県支部教室より一一名、総勢二三〇名近い参加者が有りました。講演会のテーマは「基本五ヶ条」でした。始めに、各支部の状況をお聞きしました。その後、NHKで放送された『アインシュタインの眼』についての解説のと、撮影の苦労話を聞きました。続いて、「五ヶ条」の内、「平目平視」「中正円転」「分清虚实」についての説明と、体の動かし方、姿勢についての話しを聞きました。

講演終了後、記念の演舞を行って頂きました。その後、楊名時 八段錦・太極拳五十年記念を兼ねて、祝賀会(立食パーティー)を行いました。

今回の大会は、長野県支部にとって、節目の大会でした。そして、有意義な一日でした。



(長野県松本文化会館にて)

『特集・太極拳と高齢者』

長野県支部長 小林直利

長野県は、高齢化が進み、四人に一人は六十五歳以上と言う状況です。長野県支部に置いては高齢者が、多くなつてきりません。そんな中で、男性会員で最高齢（八十六歳）、しかも現役で、「げたスケート」を行っている、前島太平さんがおられます。

現在、諏訪郡富士見にお住まいです。月に二回、太極拳指導員として稽古する傍ら、子供の時から始めた、「げたスケート」を行い、ジュニアのスケート教室の指導を行っており、スケート選手の育成に、長年携わっている方です。

二十歳で、出兵して、旧ソ連に四年間抑留されて、終戦後は、旧国鉄に勤務され、定年してからは、富士見で、高原の野菜や植物を栽培されており、十年前から健康の為に太極拳を始められたそうです。又、座禅も行っているとの事です。

昨年は、全国大会に参加をされ八十歳以上の部で演舞されました。又、今年、四月、山梨県・長野県合同研修会に参加され、日々太極拳の研鑽をされておられます。

先月は、(六月二十日)、長野県支部設立五周年記念大会に参加されて、楊進先生の講演を熱心に受講されました。

前島さんのモットーは、「毎日の正業にはげみ、その中で何かしらの喜びと楽しみを求めたり、日々になすことをなし、人の常としている。」との事です。又、戦争体験から、「生身の体なのに戦争を続けることはとてもたまらない、若者たちの中から凡愚の自身と思ひ目覚めて、よき、きれいな花を素直に見える世の中にとどまれるように思うようになりなりました。」、そして、「感謝の心を大切に毎日太極拳に接したい。」と語られました。

楊名時太極拳の目指すところのスローガンである「健康・友好・平和」をまさに地で行く方です。今回は、特別に取材方式で、ご紹介をしました。少しでも、県支部会員の皆様に、励みになって頂けたら幸いです。今後とも前島さんには、高齢者の鑑として、健康・太極拳を継続して、長生きをして頂きたいと思ひます。

(写真、右下は、山梨県研修会の時の物です。)(写真、左下は、信濃毎日新聞の切り抜きです。平成二十二年一月十一日に、掲載されました。左から二番目が前島さんです。)



小学生の声を受けながら、げたスケートで滑るお祭りたち

加藤一が参加する初級太極拳講習会。講師は太極拳の大家である楊名時先生。講習会では、楊先生から太極拳の歴史や理論、そして実践の指導を受ける。写真は、講習会中の様子。

げたスケートも余裕の滑走 老壮健技会



(前島太平さん)

◆投稿記事◆

『高齢者の健康法にびったり』

長野市教室 春原修樹

三十六年間を勤めていた会社を定年退職したとき、大学の同窓生で、当時、NHK出版の社長だった友人から「うちの会社でこんな本を出した。退職後の健康に役立てたら」と、楊名時先生の解説本「太極拳」を推奨された。そのときはさほど体調に変わりなく、本棚の片隅に置いたままになって忘れていた。

古希(七十歳)になってからは、毎日の善光寺参拝と城山公園の散歩を日課にしていたが、七十五歳を過ぎたころから坂道や階段ではなんとも足腰の衰えを感じ始め、ヨークカルチャーセンターの太極拳受講者の一人に「こんな年寄りでもいいのかな」と相談し、一週間に一回通うことになった。たまたまそこは、楊名時先生指導の教室だった。

受講を始めて三カ月経ったとき、それまで悩まされ、塗り薬や飲み薬で対処していた、ひどい肩こりが、いつのまにかなくなつてびっくり。また、半年後には二十年以上もの持病の高血圧が、陽気の変わり目ご

とに乱高下していたのが、高いながらもすつかり安定、その後は良好な体調が続いている。これからも楊名時先生の「日久人心」のことばに従って、願わくば春夏秋冬を経ながら二年、三年、五年と太極拳を続けたいと思っている。

◆山梨県・長野県支部合同研修会

『第六回規範教程』の報告

長野県支部長 小林直利

平成二十二年四月三日(土)午後二時より、山梨県甲府市内において、楊進先生をお迎えして、山梨県・長野県支部合同の研修会を行いました。

長野県支部から、二〇名参加者しました。今回は、第六回目の規範教程で、最終の研修会で、今まで行ってきた教程のまとめでした。特に基本的な動作について、講義を受けました。

その後、場所を移動して、実技研修に成りました。重心の移動について、又、バランスのとり方を体験して、短時間でしたが、貴重な勉強会と成りました。

研修会の終了後、懇親会に出席させて頂き、山梨県支部の皆さんと親睦を深めて参りました。



(甲府市ピアールにて)

『箱根・指導者研修会の報告』

長野県支部長 小林直利

平成二十二年五月四日・五日と、箱根にて、第二十八回指導者研修会が行われ、全国より三九二名集まりました。

四日は、午後二時より、全体研修で、楊慧先生の指導で、八段錦・太極拳・百花拳を行いました。夜は、交流会が行われました。五日は、師範の審査会と楊進先生・楊慧先生・中野完二先生の講義が行われました。今回は、天候に恵まれ、早朝の稽古も行われ、充実した研修会でした。



(箱根研修会にて)

◆訂正とお詫び(記載漏れ)

会報、第九号の昇段の記載に間違えが有りましたので、訂正とお詫び申し上げます。

◎奥伝 (訂正)

×松島久美子→○川井 良子

◎中伝 (記載漏れ)

松島久美子 木下幹治朗

木下 陽子 太田 直子

◆日本太極拳協会本部事業

『楊名時 八段錦・太極拳五〇年』

記念祝賀会(楊進先生・楊慧先生主催)

平成二十二年十月十日(日)、帝国ホテルにて

『第二回秋の指導者研修会』

平成二十二年十月十五日(金)午後一時～四時

東京ガス深川体育館

『講演会』

平成二十二年十月二十九日(金)本部道場会館

『第三一回指導者会』

平成二十二年十月二十九日(金)学士会館

◆長野県支部設立5周年記念DVD販売

楊進先生講演会のDVDを特別(特売で、二〇〇円です。)に販売します。希望者は、野村事務局長までご連絡下さい。

(携帯)〇九〇一八三二九一四九三四

投稿にあたって

会報、第一〇号を発行致しましたが、内容を少しでも充実する為、次回の発行にあたり、ご感想、ご意見等がありましたら事務局までご連絡下さい。又、皆様方からの投稿を受付致します。各教室の紹介、行事予定、太極拳や健康に関する事について、ご投稿をお願い致します。(写真も掲載いたします。)

後記

◆秋の研修会・合宿のお知らせ

期日は、平成二十二年九月四日、五日

会場は、『アゼイリア飯綱』(飯綱高原)

内容は、推手講習会及び

パワースポット・戸隠神社参拝研修会

講師は、後藤正行・春美先生

定員は、二〇名(定員になり次第締切ります。)

参加費は、一人一〇、〇〇〇円(泊三食付)

研修会呑みは、一人二、〇〇〇円(半日)

申し込みは、各教室の担当者まで

詳しくは、事務局までご連絡下さい。

【日本健康太極拳協会長野県支部事務局】

〒三九九一七四〇一

長野県松本市五常六九九九一三

電話・FAX〇二六三一六四一三九八〇

URL <http://naganosibu.hp.infoseek.co.jp/>

E-mail:n-koba@go.tvm.ne.jp